

## 大会時・コロナ禍での取組

・2020年：試験的に1時間早く出社する時差出勤を試行

### 人の流れ

きっかけ

以前より実施

オリバラ

コロナ禍

※葛西トラックターミナル内で業務用トラックの整備を行っており、大手の取引先の状況にあわせて対応

- 会議等の開催の自粛・・・ コロナ禍でトラックの運行台数が減。結果として営業活動の自粛に
- 会議等のオンライン化・・・ 総務・経理関係の講演会等がオンライン化 社内会議・社外研修は通常通り
- 有給休暇の計画的な取得促進・・・ 有給休暇を夏季休暇や年末休暇に合わせて計画的に付与

### 物の流れ

きっかけ

以前より実施

オリバラ

コロナ禍

特に無し

### 取組ポイント

- 時差出勤を事前に試行
- 継続して取組実施の可能性を模索

## 今後の取組

### 人の流れ

継続して取組を実施予定

#### □ 計画的な休暇の取得

※休暇の取り難い業種（他企業が休みの時が稼ぎ時）であるため、有休の取得率をどう上げていくかが今後の課題

#### □ 手続きの電子化

※押印行為に関する電子化も、どのような形で電子化すれば最適かを検討中

#### □ 書類等の電子化

取引先からの要望で、電子記録債権の利用を一部開始しており、紙媒体から電子取引への完全移行を現在検討中

### 物の流れ

特に無し

## 【東京2020大会を振り返って】

- ・自社があるエリアは「カヌー競技場」になっていたが、東京2020大会開催中の交通規制等の影響は特になかった。
- ・幹線道路等の渋滞がトラックの移動に影響するため、時間をずらしたり、移動ルートを変更したりする等の対応をするしかない。
- ・東京都から提供された各種情報は、臨海地区における混雑状況を把握することに役立ったが、サイトに掲載されている情報量が多過ぎたため、絞り込むのが大変だった。もう少しシンプルな情報内容だと良かった。
- ・東京2020大会を振り返って、人の流れを抑制するためには要望や依頼ではなく、コロナ禍の時のような、ある程度、強制力を持たせないと難しいのではないかと。